

汗

岡本かの子

青空文庫

——お金が汗をかいたわ。」

河内屋の娘の浦子はさういつて松崎の前にてのひら掌を開いて見せた。ローマを取巻く丘のやうに程のよい高さで盛り上る肉付きのまん中に一円銀貨の片面が少し曇つて濡ぬれてゐた。

浦子はこどものときにひどい脳膜炎を患わづらつたため白痴であつた。十九にもなるのに六つ七つの年ごろの智恵しかなかつた。しかし女の発達の方が頭へ向くのをやめて肉体一方にそゝいだたためか生れつきの美人の素質は息を吹き込んだやうに表面に張り切つた。ぼたんの花にかんなの花のたく逞ましさを添へたやうな美しさであつた。河内屋の生人形いきにんぎょう、と近所のものが評判した。

浦子は一人娘であつた。それやこれやで親たちは不憫ふびんを添へて可愛かわゆがつた。白痴娘を持つ親の意地から婿は是非ぜひとも秀才をと十二分の条件を用意して八方を探した。河内屋は東京近郊のX町切つての資産家だつた。

三人ほど官立大学出の青年が進んで婿の候補者に立つた。しかし彼等が見合ひかた／＼河内屋に滞在してゐるうちに彼等とはごとく匙さじを投げた。「紙!」「紙!」浦子は便所へ入つて戸を開けたまま未来の夫を呼んで落とし紙を持つて来させるやうな白痴振りを平気でした。

松崎は婿の候補者といふわけではなかつた。評判を聞きつけて面白半分娘見物に来たのだつた。松崎は鮎あゆ釣つりが好きだつたところ

ろからそれをかこつけに同業の伯父おじから紹介状を貰もらつて河内屋に泊り込んでゐた。又町のそばには鮎あせのゐる瀬川が流れて季節の間は相当賑にぎわつた。松崎は工科出の健康な青年で秋口から東北の鉱山へ勤める就職口も定まつてゐた。

もはや婿養子の望みも絶つた親たちはせめて将来自分一人で用を足せるやうにと浦子に日常のやさしい生活事務をポツ／＼教へ込むことに努力を向けかへてゐた。

松崎の来るすこし前ごろから浦子は毎日母親から金を渡されて一人で町へ買物に行く稽古けいこをさせられてゐた。

庭には藤ふじが咲き重つてゐた。築山つきやまを繞めぐつて覗のぞかれる花畑にはヂキタリスの細い頸くびの花が夢の焰ほのおのやうに冷たくいく筋もゆらめ

いてゐた。早出の蚊かを食はうとぬるい水にもんどり打つ池の真鯉まごい
——なやましく藹ろうたけき六月の夕だ。

松崎は小早く川から上つて縁側で道具の仕末をしてゐた。釣つて来た若鮎むせの噎むせるやうな匂ひが夕闇に沁しみてゐた。そこへ浦子が
——お金が汗をかいたわ。」
といつて歸つて来た。

——松崎さん。こんなお金でおしほせん買へて?」
この疑ひのために浦子はそのましおせんべい塩煎餅屋の前から引返して
来たのだ。

松崎は眼を丸くして浦子の顔を見た。むつくり高い鼻。はかつたやうに急くぼを左右へ彫り込んだ下しもぶく膨れの頬ほお。豊かに括くくつた

朱の唇。そして蛾眉がびの下に黒い瞳がどこを見るときも煙つてゐる。矢がすりの銘仙に文ぶん金きんの高島田。そこに一点の羞恥しゆうちの影も無い。松崎は眼を落して娘の掌てのひらを見た。古典的で若々しいローマの丘のやうに盛上つた浦子の掌の肉の中に丸い銀貨の面はなかなば曇りを吹き消しつゝある。

松崎は思はず娘の手首を握つた。そして娘の顔をまた見上げた。そのとき松崎の顔にはあきらかに一つの感動の色が内から皮膚をかきむしつてゐた。

——「こんなお金でおしほせん買へて？」

松崎の顔は決心した。そしてほつと溜息ためいきをついて可愛らしい浦子の掌へキスを与へた。そしていつた。

——買へますよ。買へますとも。どりや、そいぢや僕も一しよに行つてあげませう。そしてこれからはあなたの買物に行くときにはいつでも一しよに行つてあげますよ。」

その秋に松崎は浦子を妻に貰つて東北の任地へ立つて行つた。

×

×

これはあの大柄で人の好きさうな貨幣一円銀貨が日本にあつた時分の話である。

今、イギリスの半クラウンの銀貨があれによく似てゐる。私はロンドンでこの銀貨を握つてその面に汗を見るときになぜか「飾マニキヤン人形の純真さ」。

こんな詩の題目めくことを心に浮べた。

青空文庫情報

底本：「日本幻想文学集成10 岡本かの子」国書刊行会

1992（平成4）年1月23日初版第1刷発行

底本の親本：「岡本かの子全集 第一卷 小説」冬樹社

1974（昭和49）年9月15日

初出：「週間朝日」

1933（昭和8）年5月

※ルビは新仮名とする底本の扱いにそって、ルビの拗音、促音は小書きしました。

入力：門田裕志

校正：湯地光弘

2004年6月1日作成

2016年1月16日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

汗

岡本かの子

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>